TANAKA
田中貴金属

会社案内

株式会社田中貴金属グループ
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-6-6
TEL.03-6311-5511　FAX.03-6311-5509
https://www.tanaka.co.jp

2024-2025
2025.01.06

貴金属のプロフェッショナルとして
田中貴金属はこれからも、
輝く世界の未来を切り拓いていきます。

時代や国境を越えて人々の暮らしを支える貴金属。

私たち田中貴金属は、1885年（明治18年）の創業以来、

貴金属のプロフェッショナルとしてその新しい価値と可能性を追い求めてきました。

資産や宝飾品としてはもちろん、最先端分野に欠かせない産業用素材としても、

貴金属の活躍する領域はますます広がっています。

そして田中貴金属は、いま世界への歩みをさらに進めています。

多様化する世界中のお客様のニーズに、より高度にスピーディーに対応すること。

お客様の信頼と期待に応え、

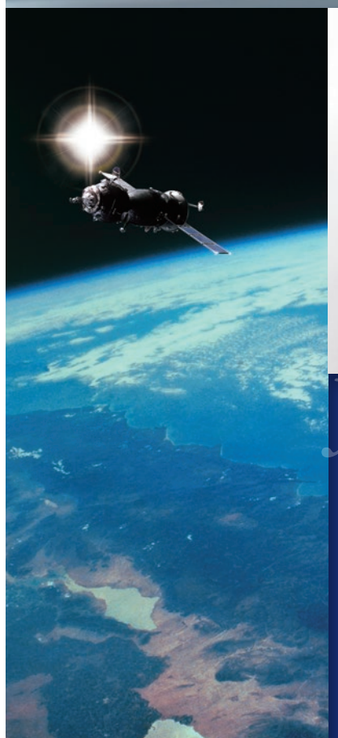
ゆとりある豊かな社会と美しい地球の未来を実現していくこと。

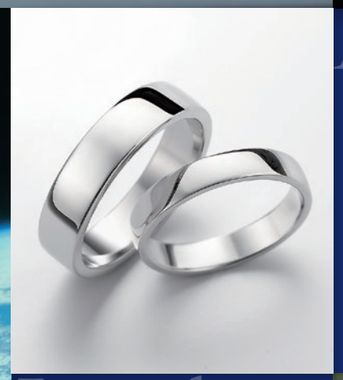
田中貴金属は、磨き続けてきた技術力とアイデアで、

貴金属にできるすべてのことに取組み、

これからも新しい領域を切り拓いていきます。

Industrial



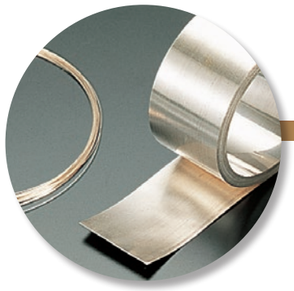


Asset

Jewelry

3つの分野で、光り輝く。

田中貴金属は、「産業用」「資産用」「宝飾品」の3つの分野で事業を展開しています。「産業用」分野での事業は多岐に渡り、開発されている産業用貴金属製品は、自動車、モバイル機器などの身近なものから、エネルギー、医療、宇宙開発といった最先端領域にまで活かされています。「資産用」分野では地金をはじめとした貴金属資産商品を、「宝飾品」の分野では、業界最高レベルの厳しい品質基準で磨き抜いた数々の商品をご提供。
さまざまな世界で、人々の暮らしと人生を輝かせています。



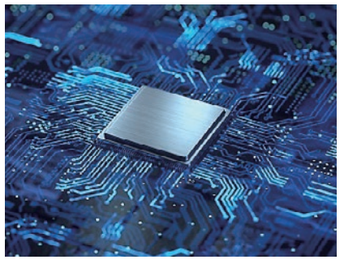
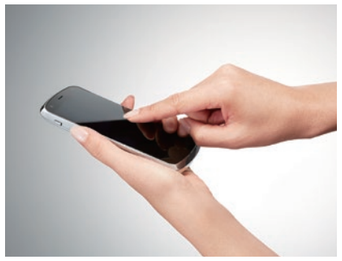
産業用

Industrial

TANAKAの産業用貴金属製品は、
さまざまな領域で活躍しています。

自動車 / 半導体 / ホームエレクトロニクス
新エネルギー / メディカル / 環境&インフラ

▶詳細はP7へ

TANAKAの貴金属

資産用

Asset

金といえば、田中貴金属。
お客様の資産形成にさまざまな商品構成で貢献しています。

地金 / コイン / 「田中貴金属の純金積立」

▶詳細はP11へ

田中貴金属の
純金積立

宝飾品

Jewelry

ギンザタナカとして、
歴史と伝統に培われた確かな品質を
お客様にご提供しています。

▶詳細はP12へ

私たちが追求するのは、貴金属の可能性。

貴金属には、ふたつの輝きがあります。

ひとつは、遥か6000年の昔より人類が愛し求め続けてきた貴金属の輝き。

そしてもうひとつは、近代から現代に至るまで、

産業の発達を根底から支え続けてきた、素材としての可能性あふれる輝きです。

これからも田中貴金属は、あらゆる角度からまだここにない貴金属の可能性を追求していきます。

Periodic Table of the Elements

元素の周期表

周期＼族	1 (1A)	2 (2A)	3 (3A)	4 (4A)	5 (5A)	6 (6A)	7 (7A)	8 (8)	9 (8)	10 (8)	11 (1B)	12 (2B)	13 (3B)	14 (4B)	15 (5B)	16 (6B)	17 (7B)	18 (0)
1	1 H 水素																	2 He ヘリウム
2	3 Li リチウム	4 Be ベリリウム											5 B ホウ素	6 C 炭素	7 N 窒素	8 O 酸素	9 F フッ素	10 Ne ネオン
3	11 Na ナトリウム	12 Mg マグネシウム											13 Al アルミニウム	14 Si ケイ素	15 P リン	16 S 硫黄	17 Cl 塩素	18 Ar アルゴン
4	19 K カリウム	20 Ca カルシウム	21 Sc スカンジウム	22 Ti チタン	23 V バナジウム	24 Cr クロム	25 Mn マンガン	26 Fe 鉄	27 Co コバルト	28 Ni ニッケル	29 Cu 銅	30 Zn 亜鉛	31 Ga ガリウム	32 Ge ゲルマニウム	33 As ヒ素	34 Se セレン	35 Br 臭素	36 Kr クリプトン
5	37 Rb ルビジウム	38 Sr ストロンチウム	39 Y イットリウム	40 Zr ジルコニウム	41 Nb ニオブ	42 Mo モリブデン	43 Tc テクネチウム	44 Ru ルテニウム	45 Rh ロジウム	46 Pd パラジウム	47 Ag 銀	48 Cd カドミウム	49 In インジウム	50 Sn スズ	51 Sb アンチモン	52 Te テルル	53 I ヨウ素	54 Xe キセノン
6	55 Cs セシウム	56 Ba バリウム	57〜71 ランタノイド	72 Hf ハフニウム	73 Ta タンタル	74 W タングステン	75 Re レニウム	76 Os オスミウム	77 Ir イリジウム	78 Pt 白金	79 Au 金	80 Hg 水銀	81 Tl タリウム	82 Pb 鉛	83 Bi ビスマス	84 Po ポロニウム	85 At アスタチン	86 Rn ラドン
7	87 Fr フランシウム	88 Ra ラジウム	89〜103 アクチノイド	104 Rf ラザホージウム	105 Db ドブニウム	106 Sg シーボーギウム	107 Bh ボーリウム	108 Hs ハッシウム	109 Mt マイトネリウム	110 Ds ダルムスタチウム	111 Rg レントゲニウム	112 Cn コペルニシウム	113 Uut ウンウントリウム	114 Fl フレロビウム	115 Uup ウンウンペンチウム	116 Lv リバモリウム	117 Uus ウンウンセプチウム	118 Uuo ウンウンオクチウム

ランタノイド	57 La ランタン	58 Ce セリウム	59 Pr プラセオジム	60 Nd ネオジム	61 Pm プロメチウム	62 Sm サマリウム	63 Eu ユウロピウム	64 Gd ガドリニウム	65 Tb テルビウム	66 Dy ジスプロシウム	67 Ho ホルミウム	68 Er エルビウム	69 Tm ツリウム	70 Yb イッテルビウム	71 Lu ルテチウム
アクチノイド	89 Ac アクチニウム	90 Th トリウム	91 Pa プロトアクチニウム	92 U ウラン	93 Np ネプツニウム	94 Pu プルトニウム	95 Am アメリシウム	96 Cm キュリウム	97 Bk バークリウム	98 Cf カリホルニウム	99 Es アインスタイニウム	100 Fm フェルミウム	101 Md メンデレビウム	102 No ノーベリウム	103 Lr ローレンシウム

原子番号
元素記号
元素名

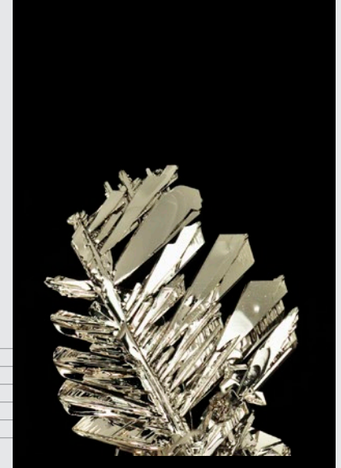
Pt

白金
Platinum
原子番号78
原子量195.084

触媒から制ガン剤まで、可能性を存分に秘めています。

自動車などの排ガス浄化触媒はもちろん、制ガン剤の原薬としても活躍しています。未知の力を充分に秘めた貴金属のひとつです。

融点	1768.2℃
沸点	3827℃
密度	21.45g·cm^{-3}(20℃)
電気抵抗率	9.81×10^{-8}Ω·m(0℃)
熱膨張率	8.8×10^{-6}K^{-1}(20℃)
熱伝導率	72W·m^{-1}·K^{-1}(0℃)



Au

金
Gold
原子番号79
原子量196.966569

赤外線の防御膜としても役立っています。

展延性に優れ、細い線や薄い箔に加工することができます。赤外線の反射率は98.4%と非常に高く、スペースシャトルでは金の薄膜が防御膜として使われています。

融点	1064.18℃
沸点	2857℃
密度	19.32g·cm^{-3}(20℃)
電気抵抗率	2.05×10^{-8}Ω·m(0℃)
熱膨張率	14.2×10^{-6}K^{-1}(20℃)
熱伝導率	319W·m^{-1}·K^{-1}(0℃)

Ag

銀
Silver
原子番号47
原子量107.8682

銀なくしては写真は生まれませんでした。

硝酸銀として、写真感光材料に大量に使われます。また、あらゆる金属の中で、可視光線の反射率が高いので、鏡にも銀は使われています。

融点	961.78℃
沸点	2162℃
密度	10.50 g·cm^{-3}(20℃)
電気抵抗率	1.47×10^{-8}Ω·m(0℃)
熱膨張率	18.9×10^{-6}K^{-1}(20℃)
熱伝導率	428W·m^{-1}·K^{-1}(0℃)

Pd

パラジウム
Palladium
原子番号46
原子量106.42

水素を大量に吸収します。

水素の吸収量が、自らの体積の350〜850倍(室温)にも達します。また良く透過する性質があるため、高純度水素製造装置として独自の威力を発揮しています。

融点	1554.8℃
沸点	2964℃
密度	12.02g·cm^{-3}(20℃)
電気抵抗率	10×10^{-8}Ω·m(0℃)
熱膨張率	11.8×10^{-6}K^{-1}(20℃)
熱伝導率	72W·m^{-1}·K^{-1}(0℃)

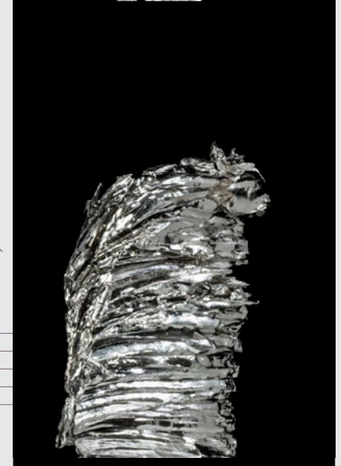
Rh

ロジウム
Rhodium
原子番号45
原子量102.9055

塊の状態では、どんなものにも溶けません。

化学的に安定しており、塊の状態では酸にも王水にも溶けません。また、ロジウムめっきはサーチライトの反射鏡や装飾用めっきとして大いに役立っています。

融点	1963℃
沸点	3697℃
密度	12.41g·cm^{-3}(20℃)
電気抵抗率	4.3×10^{-8}Ω·m(0℃)
熱膨張率	8.2×10^{-6}K^{-1}(20℃)



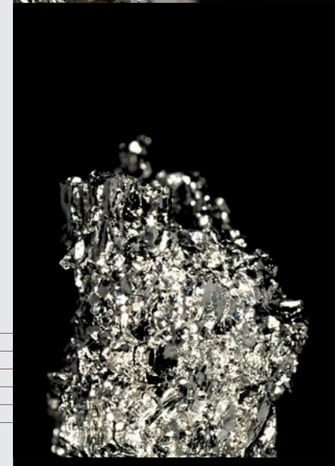
Ir

イリジウム
Iridium
原子番号77
原子量192.217

硬さ、耐食性に優れています。

白金やパラジウムに合金すると硬さが増し、また、耐食性も向上するところから、自動車用スパークプラグにも使用されます。

融点	2446℃
沸点	4437℃
密度	22.42g·cm^{-3}(17℃)
電気抵抗率	4.7×10^{-8}Ω·m(0℃)
熱膨張率	6.4×10^{-6}K^{-1}(20℃)
熱伝導率	147W·m^{-1}·K^{-1}(0℃)



Ru

ルテニウム
Ruthenium
原子番号44
原子量101.07

水から水素を発生させる光触媒として活躍します。

水を太陽光線で分解して水素を発生、燃料として蓄える無公害水素エネルギーシステム。この未来エネルギーを生み出すための触媒として、期待を集めています。

融点	2333℃
沸点	4155℃
密度	12.41g·cm^{-3}(20℃)

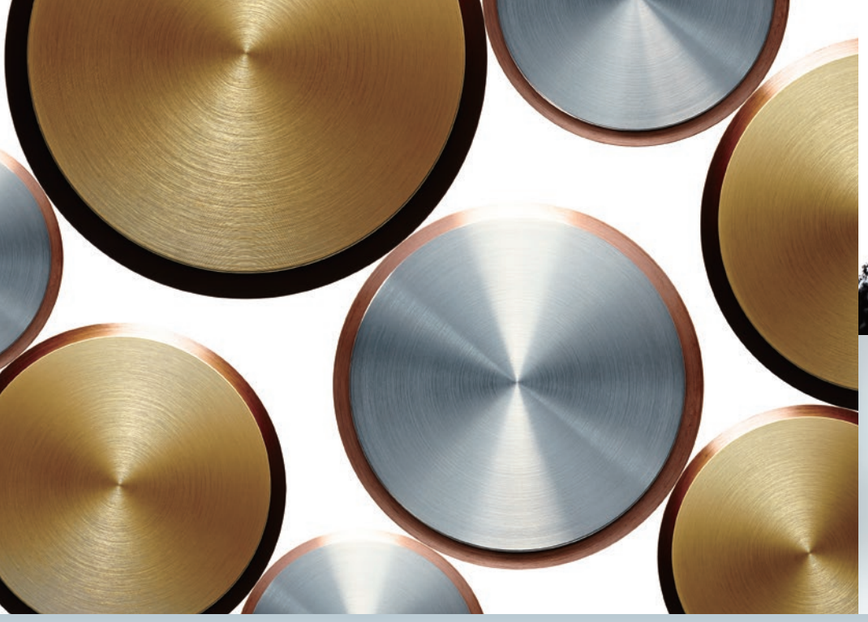
Os

オスミウム
Osmium
原子番号76
原子量190.23

バイオテクノロジーや科学捜査に役立っています。

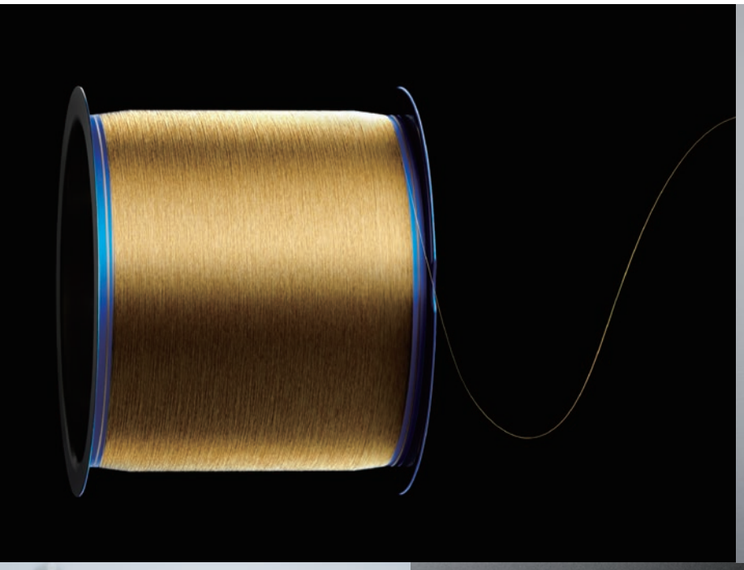
白金族金属の中では最も酸化しやすく、空気中で加熱すると急激に酸化する性質があります。また、指紋の検出や脂肪性組織の染色剤として役立っています。

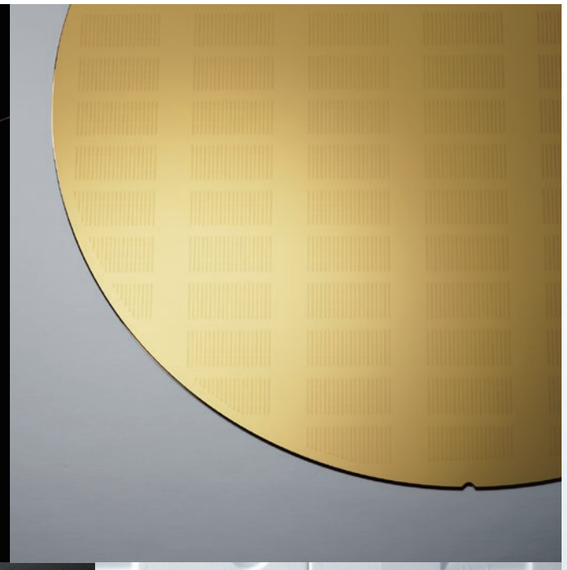
融点	3045℃
沸点	5012℃
密度	22.57g·cm^{-3}(20℃)
電気抵抗率	8.1×10^{-8}Ω·m(0℃)
熱膨張率	4.7×10^{-6}K^{-1}(20℃)



モノづくりを、支える。

TANAKAの産業用貴金属事業

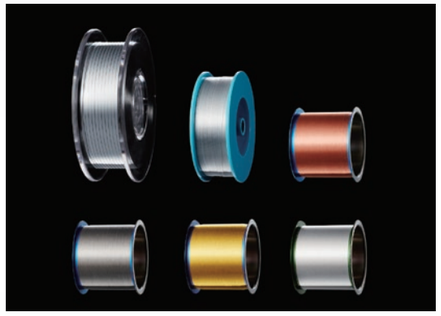




世界に誇る、TANAKAの産業用貴金属製品

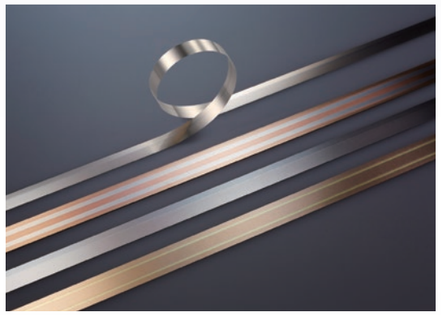
お客様が抱える課題に、的確な解決策を。田中貴金属の産業用貴金属製品は、その明確な目的意識をもって開発されています。 お客様ごとに、課題やニーズは実にさまざまです。 私たちは、その一つひとつにお応えするために、高い技術力に支えられた製品開発で貴金属の無限の可能性を追求し、最適なソリューションをご提案。 必要最小限の貴金属で最大の効果を発揮させ、企業のモノづくりをサポートしています。

TANAKAが誇る、世界シェアトップクラス製品



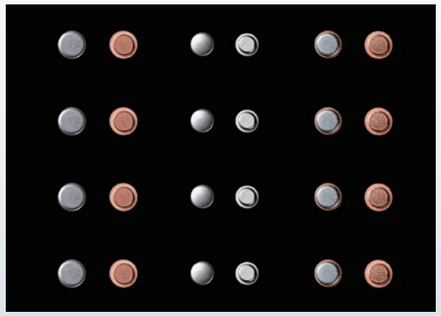
ボンディングワイヤ

スマートフォンやパソコンなどに搭載されている半導体のシリコンチップと、外部電極をつなぐボンディングワイヤ。TANAKAは供給量、世界トップクラス。 進化し続ける半導体の世界を支えています。



貴金属クラッド材

音響や映像機器などのマイクロモーターに使われている貴金属クラッド材。 TANAKAは、薄張りから厚張りまでの多層化、多条化が可能。 自由度が高いのが特徴です。



カドミフリーリベット接点

通信機器、車載機器など、多くの電力機器に使われているリベット接点。 TANAKAは、優れた表面処理技術で、材質の適用と寸法のばらつきを抑制、安定した接触抵抗を実現させています。

燃料電池用触媒

燃料電池自動車や家庭用コージェネ電源として注目を集めている燃料電池用触媒。 TANAKAは、これまで培ってきた貴金属触媒技術と電気化学技術で、これからの発電システムに貢献する触媒開発を進めています。

地金調達だけでも、開発だけでも選べる。お客様の 課題に合わせたスマートな提案があります。

TANAKAの Smart Approach

貴金属製品づくり、それだけが田中貴金属がご提案する課題解決策ではありません。
私たちは、地金調達から、加工・製造、販売、リサイクルに至るまで、
貴金属に関わるすべての業務を担い、最適な組合せでお客様の課題解決をサポートしています。
あらゆる課題に対応できる技術とグループの力。
私たちの提案力をお客様に評価いただいている理由です。

優れた素材開発力。

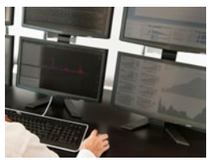
世界に誇る高い技術力。充実した製品開発体制。貴金属に対する特出したノウハウをもとに、クライアントの新製品開発に密着し、ニーズに応えた技術や材料を提供します。

- お客様の製品環境を理解した技術開発とプロセスで製造。
- 開発段階から実験、試験に協力提案型R&D。

安定供給を実現。

世界規模での調達ルートの確保、また、国内外の有力トレーダーとのネットワークを活かした購買によって、安定供給、安心なお取引を実現しています。

- 各国のネットワークと協力、貴金属地金を調達。
- 世界の著名な市場調査会社との連携により、マーケティングデータを活用。
  トレーダーと連携し、効率的な地金の売買を実現。



もう一度、活用を。

産業製品のプロダクションスクラップはもちろん、貴金属を含んだ「都市鉱山」から貴金属を分離、回収。豊かな経験と世界トップクラスの技術で、貴金属製品として活用させています。

- 希少価値の高い貴金属資源を有効活用。
- リサイクルプロセスが、TANAKAのトータルソリューションを実現。
- 田中貴金属工業は溶解業者の貴金属地金を審査する日本で唯一の公認審査会社（グッド・デリバリー・レフリー）です。

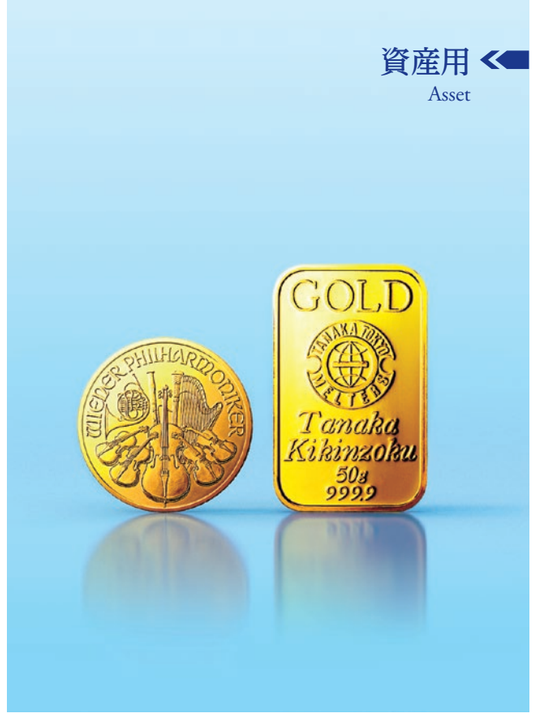
LBMA GOOD DELIVERY REFEREE

LPM LONDON PLATINUM & PALLADIUM MARKET

資産用
Asset

信頼と実績がある。
TANAKAの
貴金属資産商品

田中貴金属工業は、資産用分野においても地金・コインの売買など国内随一の取扱量を誇ります。
少額から金を購入することができる「純金積立」は、金をもっと身近な資産形成手段として活用してほしいという想いから、田中貴金属が日本で初めて発売した商品です。私たちは毎日公正・公平な価格を発表し、全国どこでも安心して売買できる店舗網をご用意しています。これからも、トップリテーラーとしてお客様一人ひとりの資産形成に貢献していきます。



国内販売シェアNo.1の実績

田中貴金属工業の金地金には、世界の金・銀市場で最も権威のあるLBMA*1の登録マーク（メルターズマーク）が、また、プラチナ地金には、世界のプラチナ・パラジウム市場で最も権威のあるLPPM*2の登録マークが刻印されています。
お客様の安心と安全のために、買い取った地金は自社のバーであっても全て溶解し、新しく製造した地金のみを販売しています。
ご予算に合わせて選んでいただけるよう、金地金は9種類、プラチナ地金は4種類のサイズをご用意しており、田中貴金属直営店、全国約100店舗の特約店でお求めいただけます。

*1 London Bullion Market Associationの略
*2 London Platinum and Palladium Marketの略

各国造幣局の総代理店

田中貴金属工業は、オーストリア造幣局・カナダ王室造幣局の日本における輸入販売総代理店です。
小さいサイズから購入可能で、美しいデザインは贈り物としても人気があります。

貴金属積立商品

田中貴金属の純金積立

「田中貴金属の純金積立」は、月々3,000円からご自身のペースで「金・プラチナ・銀」を積み立てることができるサービスです。
毎月の積立以外にもインターネットでいつでも購入、現金化が可能。受け取り方法も選べます。

宝飾品
Jewelry

受け継がれる、信頼と伝統。
TANAKAの
貴金属ジュエリー

お客様に、心から喜んでもらいたい。その想いを胸に、田中貴金属はギンザタナカにおいて、数多くの高品質な貴金属ジュエリーや工芸品をご提供しています。ギンザタナカには、さまざまな歴史があります。とりわけ、東京・銀座で長くお客様に愛され続けていることは、私たちの誇りです。歴史のなかで培われた技術を大切に、これからもジュエリーの輝きに磨きをかけていきます。

ジュエリー、工芸品、ブライダル、地金・コイン。
展開するジャンルの広さも、TANAKAの魅力のひとつです。

ジュエリー

工芸品

金地金

ウィーン金貨ハーモニー

直営店であるギンザタナカ。銀座本店を中心に全国に展開しています。

きらめく、技がある。ギンザタナカのゴールド・プラチナジュエリー

ゴールドは人類の歴史の中で、その価値を失ったことがない唯一の存在。私たちギンザタナカは1892年の創業以来、いかなる時もゴールドとともに歩みつづけてきました。
また、田中貴金属オリジナルの、傷や変形に強いプラチナ素材RPP（ロイヤルピュアプラチナ）やSSP（スーパーストロングプラチナ）を使用したジュエリーも展開しています。

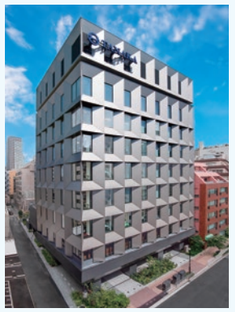
徹底した品質管理。ギンザタナカの「ホシエスマーク」

私たちは創業以来、確かな品質であることの証として、ひとつひとつのジュエリーや工芸品に星型の刻印「ホシエスマーク」を入れてきました。厳格なチェックを通った商品のみに「ホシエスマーク」を刻印します。私たちが保証書を出していないのは、この刻印が商品自体の品質を保証しているからです。

TKG
株式会社田中貴金属グループ

田中貴金属の経営管理機能

本　　社：❶ 東京 茅場町



TKK
田中貴金属工業株式会社

貴金属地金（白金・金・銀・その他）および各種産業用貴金属製品の製造・販売・輸出入および貴金属の回収・精製

本　　社：❶ 東京 茅場町

❷ 岩手工場
- 貴金属クラッド材　ほか

［ISO9001、ISO14001］

❸ 富岡工場
- 線材、板材
- リベット型複合接点
- 貴金属パイプ
- 銀ろう
- 金、銀ターゲット　ほか

［ISO9001、ISO14001］

❹ 市川工場
- 白金族系貴金属回収・精製
- 白金族系貴金属化合物
- 各種触媒の製造　ほか

［ISO9001、ISO14001］

❺ 袖ケ浦工場
- 白金族系貴金属回収・精製

［ISO9001、ISO14001］

❻ 伊勢原工場
- 白金系素材加工
- 各種センサ用材料
- ガラス溶解用白金装置　ほか

［ISO9001、ISO14001、ISO13485、ISO17025（温度計校正室）］

❼ 平塚工場
- クロスバー型電気接点
- 電子部品用材料
- 融着加工品
- 診断キット

［ISO9001、ISO14001、ISO13485］

❽ 湘南工場
- 金銀系貴金属回収・精製、回収装置
- 金銀系貴金属化合物
- 不溶性電極
- 各種めっき加工
- 厚膜ペースト

［ISO9001、ISO14001、ISO45001］

❾ 平塚テクニカルセンター
- 貴金属を用いた高機能材料の開発（医療、自動車、エネルギー分野）

❿ 筑波事業所
- Pt系ターゲットの製造
- 触媒開発・製造
- 筑波テクニカルセンター

［ISO9001、ISO14001、ISO45001］

⓫ 伊勢原テクニカルセンター
- 高機能材料の開発

［ISO14001］

⓬ FC触媒開発センター
- 燃料電池用電極触媒の開発／製造

［ISO14001、ISO45001］

⓭ TANAKA物流センター

国内販売拠点

❶ 東京本社　⑯ 福岡支店
⑭ 名古屋支店　⑰ 京都営業所
⑮ 大阪支店

TD
田中電子工業株式会社

各種ボンディングワイヤの開発・製造
顧客への技術支援・サービスの提供

本　　社：❶ 佐賀本社工場
［ISO9001、ISO14001、IATF16949、ISO45001］

事 務 所：❷ 東京 茅場町
［IATF16949］

工　　場：❸ 湘南分工場
［ISO9001、ISO14001、ISO45001］

EEJA
EEJA株式会社

貴金属・卑金属めっき液、添加物および表面処理関連薬品の開発、製造、販売、輸出

本　　社：❶ 東京 茅場町
事 業 所：❷ 平塚
［ISO9001、ISO14001、ISO45001］

TKR
田中貴金属リテイリング株式会社

ゴールド・プラチナジュエリー、ダイヤモンドジュエリー、ブライダルジュエリー、貴金属工芸品、ジュエリーリフォーム、貴金属地金・コインの売買、RE:TANAKA（貴金属製品の買取り）

店　　舗：ギンザタナカ
❶ 銀座本店
❷ 横浜元町店
❸ 仙台店
❹ 名古屋店
❺ 心斎橋店
❻ 福岡 西鉄グランドホテル店

TKT
TKT株式会社

グループ内の地金取引業務受託

本　　社：❶ 東京 茅場町

MSE
三友セミコンエンジニアリング株式会社

半導体及び電子部品用めっき装置製造

本社・工場：❶ 常総（茨城）

N-PGM
株式会社日本ピージーエム

※田中貴金属工業出資比率 40%

使用済みの自動車排ガス浄化用触媒・石油化学系触媒などからの貴金属回収

本　　社：❶ 東京 秋葉原
工　　場：❷ 小坂（秋田）

Group Network WORLD

田中貴金属工業株式会社

T-TKK
台湾田中貴金属工業股份有限公司

各種電気接点、線材加工、回収・精製

本　　社：1 台北
工　　場：2 新竹
［ISO9001、ISO14001、IATF16949］
3 湖口
［ISO9001、ISO14001、ISO45001］
営　　業：4 台北
5 高雄

TKCN
田中先端有色金属材料（寧波）有限公司

Agを主成分とする素材製品の加工、販売

本　　社：6 寧波（中国）
［ISO9001、ISO14001、IATF16949］

TKCC
田中先端有色金属材料（成都）有限公司

白金加工

本　　社：7 成都（中国）

MTEMS
田中メタロー電工材料（蘇州）有限公司

電気接点／ワイヤ、接点アッセンブリの製造販売

本　　社：8 蘇州（中国）
［ISO9001］

海外販売拠点

9 香港支店
10 田中貴金属（上海）有限公司
11 〃　深圳分公司
12 韓国TKK株式会社
13 田中貴金属（シンガポール）株式会社
［ISO9001］
14 〃　マニラ支店
15 田中貴金属インターナショナル（タイランド）株式会社
16 田中貴金属インターナショナル（アメリカ）株式会社
17 〃　サンノゼ支店
18 田中貴金属インターナショナル（欧州）有限会社
19 田中貴金属（インド）株式会社

田中電子工業株式会社

TES
田中エレクトロニクス シンガポール（PTE.）LTD.

各種ボンディングワイヤの製造
顧客への技術支援・サービスの提供

本　　社：1 シンガポール
［ISO9001、ISO14001、IATF16949、ISO45001］

TEM
田中エレクトロニクス（マレーシア）SDN. BHD.

各種ボンディングワイヤの製造
顧客への技術支援・サービスの提供

本　　社：2 ペナン（マレーシア）
［ISO9001、ISO14001、IATF16949、ISO45001］

TEC
田中電子（杭州）有限公司

各種ボンディングワイヤの製造
顧客への技術支援・サービスの提供

本　　社：3 杭州（中国）
［ISO9001、ISO14001、IATF16949、ISO45001］

TET
台湾田中電子股份有限公司

各種ボンディングワイヤの製造
顧客への技術支援・サービスの提供

所 在 地：4 中壢
［ISO9001、IATF16949、ISO14001、ISO45001］

TETK
台湾田中電子股份有限公司 南科分公司

各種ボンディングワイヤの製造

所 在 地：5 高雄
［ISO9001、ISO14001、ISO45001］

TET/TC
台湾田中電子股份有限公司 テクニカルセンター

顧客への技術支援・サービスの提供

所 在 地：6 高雄
［ISO9001、IATF16949、ISO45001］

Metalor Technologies International SA

貴金属精製、めっき液製造販売、
電気接点製造販売

本　　社：1 マラン（スイス）
工　　場：2 マラン（スイス）
3 リス（スイス）
4 クルビル・シュル・ユール（フランス）
5 サン・フォン（フランス）
6 バーミンガム（イギリス）
7 ジュロン（シンガポール）
8 東冨（中国）
9 香港（中国）
10 高雄
11 ノース・アトルボロ（アメリカ）
12 アトルボロ（アメリカ）
13 ポート・ヒューロン（アメリカ）
14 サン・ルイス・ポトシ（メキシコ）

N-PGM
Nippon PGM America, Inc.
※田中貴金属工業出資比率 40%

使用済みの自動車排ガス浄化触媒回収のサンプリング

工　　場：1 ニュージャージー（アメリカ）

N-PGM
Nippon PGM Europe S.R.O.
※田中貴金属工業出資比率 40%

使用済みの自動車排ガス浄化触媒回収のサンプリング

工　　場：2 リベレツ（チェコ）

GMPT
成都光明派特貴金属有限公司
※田中貴金属工業出資比率 40%

貴金属販売、貴金属加工品の製造、販売、貴金属リサイクル事業

本社工場：3 成都（中国）
［ISO9001、ISO14001］

いつの時代も、貴金属とともに。
TANAKAの歴史

田中貴金属は、1885年に両替商として歩みを始めました。
1907年には白金線の加工に成功するなど、これまで数々の貴金属の工業製品化を実現。
いつの時代も常に、高い志をもって、貴金属と向き合ってきました。

年代	田中貴金属の出来事	社会の出来事	金価格(1gあたり)
1885(明治18)	東京・日本橋茅場町にて江島屋田中商店創業 両替商としての商いを開始 安田善次郎氏と知己を得、融資により規模を拡大	この頃、白金宝飾製品が日本に輸入され始める 1886(明治19)南アフリカにて世界最大級の金鉱脈発見 1887(明治20)東京電燈(後の東京電力)、一般電灯営業開始	67銭(明治初期)
1892(明治25)	東京・日本橋馬喰町にて山崎亀吉が清水商店 (後の(株)山崎～田中貴金属ジュエリー(株))を開業	1889(明治22)大日本帝国憲法発布	1円34銭(1897)
1907(明治40)	東京電燈(後の東京電力)の依頼で処理を行っていた廃電球から 白金を精錬し白金線加工に成功 東京勧業博覧会に白金製理化学用器具を出品し表彰	1894(明治27) 日清戦争始まる 1899(明治32) 東京～大阪間長距離電話開通 1904(明治37) 日露戦争始まる 1906(明治39) 日米間に海底ケーブルによる電信開通、一般公衆に供用	
1918(大正7)	田中商店を株式会社に改組	1914(大正3)～1918(大正7) 第一次世界大戦 1917(大正6) ロシア革命	1円36銭(1917)
1923(大正12)	ソビエト連邦から白金輸入開始 記念にソビエト連邦より油絵を贈呈される	1922(大正11)ソビエト連邦成立 関東大震災起こる	
1930(昭和5)	フランスよりキネー技師を招聘し、触媒用白金網の国産化に成功 (株)山崎の経営を継承	1929(昭和4) 世界恐慌起きる 金輸出解禁 (翌年再禁止)	1円73銭(1925) 1円36銭
1934(昭和9)	中国・朝鮮より銀貨を買付け溶解し英国ジョンソン・マッセイ社へ輸出		3円60銭
1936(昭和11)	田中梅吉死去　田中一郎 取締役社長に就任 「白金章」製造販売	2.26事件勃発	
1937(昭和12)	本社社屋、鉄筋コンクリート3階建てに改築	1938(昭和13) 戦時物資活用協会設立　米国にてナイロン発明 1939(昭和14) 第二次世界大戦始まる 1941(昭和16) 太平洋戦争始まる	3円84銭
1943(昭和18)	「田中貴金属工業株式会社」へ社名変更	英国にて世界最初の電算機誕生	
1945(昭和20)	4工場中、本社工場を除いた3工場が空襲で被災 GHQによる貴金属接収	終戦 1947(昭和22) 日本国憲法施行	4円80銭
1949(昭和24)	この頃、製造体制が整い、生産量や販売が復活し始める 兵庫県川西市にて化学繊維用ノズル生産開始	1948(昭和23) トランジスター発明 1950(昭和25)～1953(昭和28) 朝鮮戦争 1951(昭和26) 平和条約調印　貴金属管理法撤廃	385円
1952(昭和27)	大蔵省より「金売り捌き業者」の指定受ける		585円(1951)
1956(昭和31)	英国ジョンソン・マッセイ社の日本総代理店契約を締結	経済白書で「もはや戦後ではない」 日ソ国交回復、東海村に初の原子炉建設着工	585円(1953)
1958(昭和33)	クロスバー接点量産開始	一万円札発行　東京タワー完成	
1959(昭和34)	この頃、各地に工場建設、営業所開設	1960(昭和35) カラーテレビ本放送開始	590円(1960)
1961(昭和36)	田中電子工業(株)設立	ソビエト連邦、有人衛星「ヴォストーク1号」打上げ成功	620円
1963(昭和38)	田中一郎死去　田中淳一郎 代表取締役社長に就任 東京オリンピック公式記念メダル製造	原子力研究所動力試験炉が発電に成功	690円
1964(昭和39)	純金風呂製造 直径0.01mmの金極細線国産化に成功	東京オリンピック開催　東海道新幹線開業　日米間海底ケーブル完成	690円
1965(昭和40)	日本エレクトロプレイティング・エンジニヤース(株)(EEJA)設立	1967(昭和42) 公害対策基本法施行	690円
1969(昭和44)	英国ジョンソン・マッセイ社との合弁会社、田中マッセイ(株)設立	アポロ11号月面着陸	690円
1970(昭和45)	大阪にて開催された日本万国博覧会に出展、公式記念メダルも製造 田中貴金属販売(株)設立	日本万国博覧会開催　日本最初の人工衛星打ち上げ 1971(昭和46) 米国で金とドルの交換停止(ニクソンショック)	690円
1974(昭和49)	しろがね興産(株)設立 山崎本社ビル改築完成 喜星金属(株)を韓国に設立	1973(昭和48) 金輸入自由化　第一次オイルショック 1976(昭和51) IMF 保有金売却開始 1977(昭和52) ドル安による産油国オイルダラーの金購入急増	958円(1973) (以降、年間平均価格) 1,598円(1974)
1978(昭和53)	ロンドン金市場より公認溶解・検定業者として認定 田中エレクトロニクス シンガポール (PTE.) LTD. 設立	金の輸出自由化	1,343円
1979(昭和54)	金地金特約店を全国に設置	一般における金の人気高まる(第一次金ブーム) 原油価格高騰(第二次オイルショック)、世界的に急激なインフレ 日本地金流通協会発足	2,218円
1980(昭和55)	「金定額購入システム」取扱開始 クルーガーランド金貨販売開始 ロンドン、チューリヒのグッドデリバリー・バー・プラチナの認定生産者に	イラン・イラク全面戦争、原油相場高騰 金価格が史上最高値となる	4,499円
1981(昭和56)	銀座山崎にて「価格スライド方式」を導入	第二次金ブーム	3,311円
1982(昭和57)	メイプルリーフ金貨の日本総代理店に	第三次金ブーム　東京金先物取引開始	3,068円

創業者 田中梅吉
(1853～1936)

株式会社化後に
使用していた風呂敷

ソビエト連邦より贈呈された油絵
「農民の娘」ピチコフ筆

関東大震災後に
再建された木造社屋

二代目社長 田中一郎
(1882～1963)

白金章
(写真は戦後復刻されたもの)

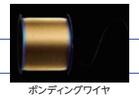
鉄筋コンクリート
本社社屋

当時の会社看板

GHQが戦車と共に来訪し
貴金属を接収

三代目社長 田中淳一郎
(1912～1989)

東京オリンピック
公式記念メダル


ボンディングワイヤ

純金1kgバー

クルーガーランド金貨

お客様が殺到した本社店頭

3分冊となった「貴金属の科学」

プラチナメイプルリーフコイン

メイプルリーフ金貨

ウィーン金貨ハーモニー

アメリカ大使館にて開催された
プラチナイーグルコイン発表会

プラチナイーグルコイン

キントン　プラトン
貴金属積立商品の
キャラクター

ロンドン金市場「公認審査会社」の認定書とマーク

LBMA
GOOD DELIVERY
REFEREE

LPPMの認定書とマーク

LPPM
LONDON
PLATINUM &
PALLADIUM
MARKET

プラチナウィーンコイン ハーモニー

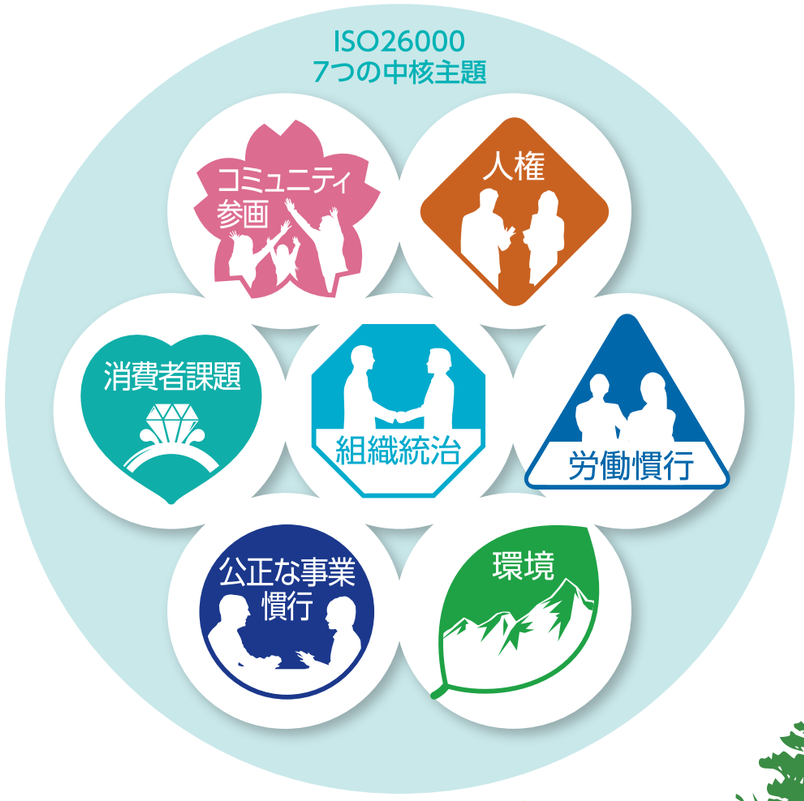
茅場町 本社

年代	田中貴金属の出来事	社会の出来事	金価格(1gあたり)
1984(昭和59)	「プラチナ定額口座」取扱開始		2,808円
1985(昭和60)	創業100周年、記念書籍「貴金属の科学」発刊 プラチナコインメダル発売開始	プラザ合意によりドル高是正へ つくば市にて国際科学技術博覧会開催	2,490円
1986(昭和61)	台湾田中貴金属工業股份有限公司設立		2,044円
1987(昭和62)	「金定額総合口座」取扱開始	NY株価急落を引き金に世界同時株安(ブラックマンデー) 国鉄がJRとして民営化	2,133円
1988(昭和63)	プラチナメイプルリーフコイン販売開始	マル優廃止	1,845円
1989(平成元)	田中淳一郎死去　深見忠彦 代表取締役社長に就任 ウィーン金貨ハーモニー販売開始	消費税導入(3%)	1,725円 (以降、消費税抜き価格)
1990(平成2)	(株)山崎が田中貴金属ジュエリー(株)に社名変更	東西ドイツ統一	1,826円
1991(平成3)	(株)日本ピージーエム設立	湾岸戦争勃発 ソビエト連邦崩壊	1,609円
1994(平成6)	田中エレクトロニクス (マレーシア) SDN. BHD. 設立		1,312円
1996(平成8)	田中貴金属インターナショナル(株)設立	1995(平成7) 阪神淡路大震災起こる オウム真理教地下鉄サリン事件起きる	1,405円
1997(平成9)	プラチナイーグルコイン販売開始	東アジア通貨、経済危機　消費税率5%に	1,337円
1999(平成11)	多田吉宏 代表取締役社長に就任	1998(平成10) 長野オリンピック開催	1,069円
2000(平成12)	田中貴金属ビジネスサービス(株)設立		1,014円
2001(平成13)	田中電子(杭州)有限公司 設立	米国同時多発テロ勃発	1,105円
2002(平成14)	インターネットによる金・プラチナ定額積立口座 「G&Pプランナー」取扱開始	南アフリカのプラチナ鉱山ストで安定供給懸念 中国上海に金取引所創設	1,296円
2003(平成15)	ロンドン金市場公認審査会社に任命	イラク戦争勃発、自動車触媒用プラチナ高騰	1,399円
2004(平成16)	岡本英彌 代表取締役社長に就任	金現物拠出型ETF、NY証券取引所上場	1,472円
2006(平成18)	茅場町より丸の内へ本社移転		2,287円
2007(平成19)	田中貴金属販売、田中貴金属インターナショナルを丸の内に移転	南アフリカにてプラチナ鉱山生産トラブル 米でサブプライムローン問題表面化	2,659円
2008(平成20)	ティーシーキャタリスト(株)設立	リーマン・ブラザーズ破綻	2,937円
2009(平成21)	RE:TANAKAサービス開始 ロンドン・プラチナ・パラジウム・マーケット(LPPM)の公認審査会社に任命	米国、金融安定化策を発表	2,951円
2010(平成22)	田中貴金属グループは、持ち株会社 「TANAKAホールディングス」を中心とする体制へ移行	EUとIMF、ギリシアへ最大1100億ユーロの資金支援を決定 東京証券取引所に貴金属ETF4銘柄が上場	3,477円
2011(平成23)	成都光明田中環保技術有限公司 設立 台湾田中電子股份有限公司 設立	東日本大震災起きる	4,060円
2012(平成24)	ロンドン地金市場協会の正会員に認定	東京スカイツリー開業	4,321円
2013(平成25)	「net純銀積立」取扱開始 田中貴金属(シンガポール)(株)設立 成都光明派特貴金属有限公司 設立 田中先端有色金属材料(杭州)有限公司 設立	2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催決定	4,453円
2014(平成26)	田苗明 代表取締役社長に就任	南アフリカのプラチナ鉱山会社のストライキ終結　消費税率8%に	4,340円
2015(平成27)	創業130周年 ロンドン・プラチナ・パラジウム・マーケット(LPPM)の正会員に認定 一般財団法人 田中貴金属財団発足 EEJA(Shanghai)Co., Ltd. 設立 TANAKA America Inc. 設立 田中先端有色金属材料(寧波)有限公司 設立	ギリシア危機 北陸新幹線東京－金沢間開通	4,564円
2016(平成28)	プラチナウィーンコイン ハーモニー販売開始 Metalor Technologies International SA をグループ企業として迎え入れる	熊本地震起きる	4,396円
2017(平成29)	田中先端有色金属材料(成都)有限公司　設立		4,576円
2019(令和元)	田中貴金属(インド)株式会社　設立	消費税率10%に	4,918円
2020(令和2)	田中浩一朗 代表取締役社長執行役員に就任		6,122円
2022(令和4)	日本エレクトロプレイティング・エンジニヤース(株)がEEJA(株)に社名変更		7,649円
2023(令和5)	田中メタロー電工材料(蘇州)有限公司　設立 韓国TKK株式会社　設立		8,834円
2024(令和6)	丸の内より茅場町へ本社移転 (株)田中貴金属グループ　設立		
2025(令和7)	「(株)田中貴金属グループ」を中心とした経営体制に移行 田中貴金属ジュエリー(株)が田中貴金属リテイリング(株)に社名変更 TKT(株)　設立		

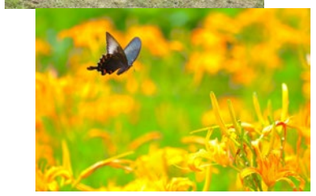
社会を豊かに、地球を美しく。

TANAKAのCSR活動

田中貴金属では、日々の事業活動の中で、社会的責任を果たし持続可能な
社会に貢献するため「行動憲章」を策定しています。
行動憲章では、ISO26000の7つの中核主題に則り、国内法令の遵守にとどまらず、
国際的に認められた基準も含めて尊重することを定めています。



ISO26000 の中核主題	課題	田中貴金属 行動憲章
組織統治	リスクマネジメント セキュリティ コーポレートガバナンス	説明責任と透明性を伴った、健全な事業活動を推進します。
人権	人権の尊重 サプライチェーンマネジメント	国籍、人種、性別、年齢、社会的身分、職制・職責等に関するあらゆる差別をなくします。
労働慣行	安全 衛生 人材育成	自由闊達な企業風土の中で、安全を最優先し、最高の仕事に取り組みます。
環境	地球温暖化対策 資源の有効活用 生物多様性の保全	環境保全を推進し、美しい地球の未来に貢献します。
公正な事業慣行	公正な取引の遵守 知的財産の創出と保護	遵法精神に基づき、健全な事業活動を推進します。
消費者課題	製品の品質 研究開発 個人情報の保護	お客様の信頼と期待に応え、心はずむ瞬間を提供します。
コミュニティへの参画及びコミュニティの発展	地域貢献 次世代育成 震災復興支援 障がい者スポーツ支援・参加	ゆとりある豊かな社会を目指し、地域社会の活性化に貢献します。



それぞれが、各分野のプロフェッショナルとしてお客様のリクエストに応えるとともに、
グループで連携をとることで、TANAKAならではの課題解決力を発揮しています。

TKG
株式会社田中貴金属グループ
TANAKA PRECIOUS METAL GROUP Co., Ltd.

田中貴金属の経営管理機能

TKK
田中貴金属工業株式会社
TANAKA PRECIOUS METAL TECHNOLOGIES Co., Ltd.

貴金属地金（白金・金・銀・その他）および各種産業用貴金属製品の
製造・販売・輸出入および貴金属の回収・精製

TD
田中電子工業株式会社
TANAKA ELECTRONICS Co., Ltd.

各種ボンディングワイヤの製造、世界中への技術サービス業務の提供

EEJA
EEJA株式会社
EEJA Ltd.

貴金属・卑金属めっき液、添加物および表面処理関連薬品の開発、
製造、販売、輸出

Metalor
Metalor Technologies International SA

貴金属精製、めっき液の製造販売、電気接点製造販売

TKR
田中貴金属リテイリング株式会社
TANAKA PRECIOUS METAL RETAILING Co., Ltd.

ゴールド・プラチナジュエリー、ダイヤモンドジュエリー、ブライダルジュエリー、貴金属工芸品、
ジュエリーリフォーム、貴金属地金・コインの売買、RE:TANAKA（貴金属製品の買取り）

TKT
TKT株式会社
TKT Co., Ltd.

グループ内の地金取引業務受託

株式会社田中貴金属グループ

会社概要

田中貴金属は1885年（明治18年）の創業以来、貴金属を中心とした事業領域で幅広い活動を展開してきました。
国内ではトップクラスの貴金属取扱量を誇り、長年に渡って、産業用貴金属製品の製造・販売ならびに、資産用や宝飾品としての貴金属商品を提供しています。
貴金属に携わる専門家集団として、国内外のグループ各社が製造、販売そして技術開発において連携・協力し、製品とサービスを提供しています。

商号	株式会社田中貴金属グループ
本社所在地	〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-6-6 TEL 03-6311-5511 FAX 03-6311-5509
創業	1885年
資本金	1億円
売上高	6,111億2,800万円（2023年度グループ連結）
従業員数	5,355名（2023年12月31日グループ連結）
代表者	代表取締役社長執行役員　田中 浩一朗
事業内容	田中貴金属の経営管理機能